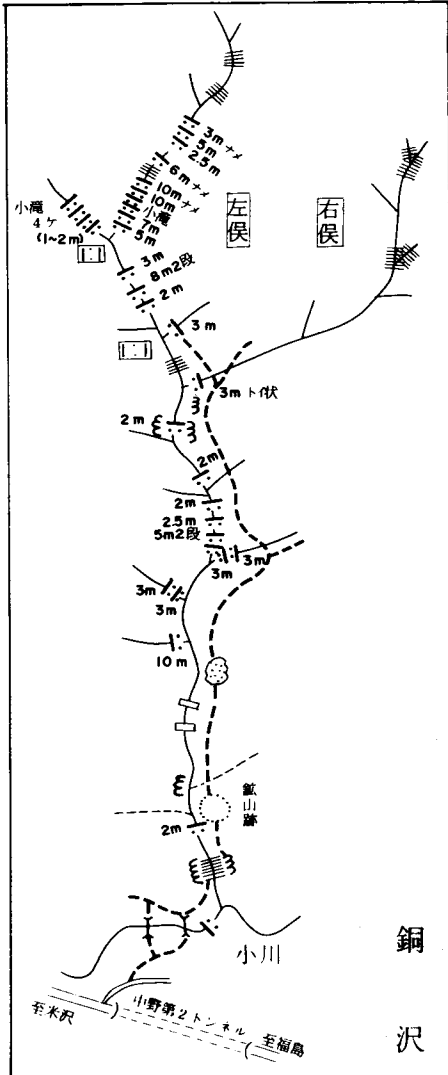


銅沢右俣

一九八三年一月五日

中野第二トンネル出口より右に入
った所の林道脇に車を止めて少し歩
くと、右に曲がる所より左に入る道
がある。この道は

すぐ二分する。ま
つすぐの道はこわ
れて渡るのには危険
な状態の橋に突き
あたる。左の道を
たどり、丸太の橋
を渡って沢ぞいに
歩き、先ほどの直
進の道を合わせて
銅沢を横切る所か
ら遊行開始。



ナメのゴルジュを過ぎ、左岸に石
垣が出てきて、二丁の小滝となる。
このすぐ先左岸に鉾山跡がある。こ

こから左岸にはつきりした踏跡があ
り、かなり上まで続いている。
沢はしばらく小さな砂防ダム（今
は土砂で埋っている）二つだけで何
もない。右岸から小沢が合流したあ
と、二俣となる。左に入り、F1二
段滝を軽く越える。この先小滝を三
つ程越えると、沢は右に曲がってす

ぐゴルジュ状になり、小滝がかかる。左岸のテラスをトラバースして越えると右俣の分岐となる。

右俣には三ヶの滝がかかっているが、こちらは下降に使うことにして左俣に入る。ナメや小滝がかかるが、いずれも軽く越えられる。左岸にはトロツコ用のレールが残っており、下の鉱山跡までトロツコを引いていたのであろうか。

この先また二俣となり、両方に滝がかかっているが、おもしろそうな右沢に入る。小滝やナメが続ぎ、あきさせない。最後はV字状のナメ床となる。水の無くなるまでつめてから尾根に上がる。(記・ナ)

「タイム」 銅沢出合(一〇:〇五)↓

遡行終了(一二:二〇)

銅沢左俣

一九八三年一月五日

銅沢左俣の遡行終了後、尾根を八九二・八ヶピークまで歩いて右俣に下る。尾根上は所々にそれらしき踏跡が残っている。

右俣は最初急なナメ状の下りであ

鳥屋沢左俣

一九八五年九月一四日

一三時福島発。中野第二トンネル

入口手前を右に折れ、踏跡をたどる。

しかしこの踏跡はすぐに消え、短いがいやらしい草付のトラバースの後、反対側からの道と合う。そこから沢

るが、そのうちゆるい下りとなってナメもなくなり、平凡なまま左俣との合流点に至る。(記・

「タイム」 下降開始(一三:二五)↓

二俣(二三:五〇)

に下降し、鳥屋沢出合へ。

出合には三ヶ、二ヶ、七ヶと連続する滝がある。最初の二段は登れるが、七ヶの滝が登れず、右岸を高捲いていたら踏跡らしきものがあつた。